

平成 26 年度 上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）13：30～14：30

開催場所：十和田市民交流プラザ 多目的研修室

出席委員：高井伸二委員（座長）、石井淳夫委員、田中孝雄委員、菊地順三委員、沼尾紀恵子委員、原子正徳委員、加藤正志委員、熊野稔委員、川崎富康委員、高田誓昌委員、浄法寺朝生委員、佐々木一郎委員、一戸実委員、田中一博委員、三上浩明委員、佐々木保信委員、横手幸年委員 17 名
（欠席者：竹林秋雄委員、櫻田一雅委員、上長根浅吉委員 3 名）

1 開会

2 あいさつ

（十和田市長挨拶）

皆様には、大変お忙しい中、当共生ビジョン懇談会にご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。

また、学識経験者であります北里大学獣医学部の高井学部長をはじめ、皆様の委員の就任につきまして、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、この圏域でございますが、上十三地域と秋田県小坂町の 10 市町村が取り組んでいるところでございます。取組にあたり、共生ビジョンを策定し、30 事業を進めておりますが、既に実施しているもの、また準備を進めているもの等、色々ありますが、そういった中で更に取組を強化するという事で、ビジョンの改正について、皆様からご意見をお聞きしたいと思っております。

この定住自立圏ですが、ただできることをやるのではなく、自治体を巡る状況や人口減少等もある中で、更に前進していかなければならないのではないかと考えております。その 1 つとして、今回の変更案でございますが、忌憚のないご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。

簡単ではございますが、開会に当たっての挨拶といたします。よろしく願いいたします。

3 委員紹介

（事務局）

※ 委員名簿に基づき委員を紹介。

4 座長の選出

開催要綱第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選により、高井伸二委員に決定。

（座長挨拶）

座長を務めさせていただきます、北里大学獣医学部の高井と申します。よろしくお願いいたします。

さて、先程市長からもご説明がございましたけれども、この地方を取り巻く諸問題といたしまして、人口減少、高齢化及び各地域の経済活動の低迷など、青森県並びに上十三地域等の環境は、非常に厳しい現実がございます。

しかし、各地域の特徴を活かしながら自律的に持続的な社会を創生というものが求められておりました、その1つの施策として、上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョンという形で平成24年度に策定され、そして、圏域市町村が連携を深めながら、住みよい圏域を形成するというところで、30の取組が進められているところでございます。

この度の懇談会では、日頃より各方面で活躍されていらっしゃる委員の皆様のご意見を賜りながら、この共生ビジョンの内容も含めて今後どのように対応すべきか、という点を色々な観点からご発言いただけますと、よりよい定住自立圏の形成に役立つものと考えております。

今日はよろしくお願いいたします。

5 案件

(1) 定住自立圏構想の概要及び(2)上十三・十和田湖広域定住自立圏の概要について (事務局)

※ **資料1**「定住自立圏構想の概要」及び**資料2**「上十三・十和田湖広域定住自立圏の概要」を説明。

【質疑・意見等】

特になし。

(3) 共生ビジョン懇談会の論点 について

(事務局)

※ **資料3**「定住自立圏共生ビジョン懇談会の論点」を説明。

【質疑・意見等】

特になし。

(4) 共生ビジョン事業の進捗状況 について

(事務局)

※ **資料4**「上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業進捗状況一覧表」に基づき、主に圏域形成後から取り組んでいる事業の進捗状況を説明。

【質疑・意見等】

(座長)

ファミリーサポートセンター事業については、具体的には、会員登録のところまで来ているのでしょうか。

(事務局)

現在、各市町村で、子ども子育て支援事業計画を策定しております。その会員登録事業につきましても、その計画の中で明らかになっていくものと思っております。

(座長)

現時点では、各市町村で対応されるということでしょうか。

(事務局)

各自治体で策定している計画であり、これらの広域的な取組については、関係市町村間で調整しながら作業していきたいと考えております。

(座長)

分かりました。

(委員)

ファミリーサポートセンター事業について、具体的にどのような形で進めるのかを書いてほしいと思っています。

現在ファミリーサポートセンター事業を受託していますが、子どもを預かっていただく提供会員は、年間 30 時間の研修が必要であり、その時間の確保や、研修の講師を探すのも大変な状況にあります。このような研修を全市町村で一括して行って貰えると大変ありがたいなと思います。また、市町村間でコミュニケーションを図っていただきたいと思います。このような具体的な部分をもう少し示していただければ、お互い助かるのかなと思います。

(事務局)

ご提案ありがとうございます。今後、WGにおいて、計画を含めた中での調整・検討の際の参考とさせていただきたいと思います。

(委員)

病児・病後児保育の実施状況について、十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町の実施状況の情報共有を行っているところがあるが、これ以外の町村については、まだ実施されていないということなのではないでしょうか。

(事務局)

調査しまして、後日改めて委員にお答えいたします。

(委員)

職員人事交流事業について、希望があった際に実施するとありますが、半強制的にでも実施してほしいと思っています。是非、この圏域で市町村の垣根を越えて交流して他市町村の良いところを勉強していくことは、将来のためにも必要ではないかと考えております。

(事務局)

現在、職員研修交流事業を進めておりますが、人事交流についても今後のために必要なものであると考えておりますので、協議検討しながら進めていけるような方向を探っていきたいと思います。

(座長)

おそらく市町村長会議のレベルの話になるかと思いますが、宜しくご検討をお願いします。ほかにございませんか。

(委員)

簡易水道施設の共同利用についてですが、休平地区の簡易水道施設が老朽化しておりますが、青森県側である十和田市休屋地区の本管と 100m 位離れた秋田県側の小坂町休平地区の本管を繋ぎ、水道水を供給できるということで、素晴らしいことであると思います。是非早急に進めていただきたいと思っております。

(事務局)

簡易水道の共同利用につきましては、今回、共生ビジョンの変更内容に関わる部分となっております。来年度からの共同利用の開始に向けて取組を進めてまいります。

(委員)

イベント交流事業に関連しまして、関係市町村で、まつり等のイベントが、ぶつからないようにしていければと思います。

また、来年度、十和田市で B-1 グランプリが開催されますが、当商工会に、あまり情報が入ってこない状況にあります。どんなことをしているかという情報でも各市町村へきめ細かく提供していかなければ、当該イベントが空振りになってしまうかもしれないと危惧しております。

(事務局)

イベント交流事業につきましては、各市町村の魅力を圏域で共有するというものでございますので、年間スケジュールを確認しながら、WG 等である程度調整できればと考えております。

B-1 グランプリにつきましては、一大イベントとなりますので、関係市町村と情報共有を図りながら、協力・連絡体制を密にしながら進めてまいりたいと考えております。

(委員)

広域観光振興推進事業について、ビジョンの記載内容には、情報発信を行う際、七戸十和田駅や道の駅等を活用して…とありますが、空港ビルにおきましても、空港利用者へ情報発信ができます。

北東北 3 県の 5 空港で連絡会を作り、その中で情報誌を製作しておりますし、

そういった空港ビルを活用した広域的な情報発信についても検討していただければと思います。

(事務局)

現在、新たな観光組織の設置について観光WGで検討しております。その新組織の中で検討していくことになろうかと思っておりますので、ご了解願います。

(委員)

十和田市や三沢市の防災訓練見学会の後に、関係市町村で情報交換を行っているようですが、どのような意見が出されているのか、お知らせ願います。

(事務局)

情報交換の具体的な内容について、資料を持ち合わせておりませんので、後程、委員へお知らせいたします。

(委員)

ファミリーサポートセンター事業について、支援をする方には、免許や条件が必要となるのでしょうか。

(座長)

30時間の講習で認定ということになるのでしょうか。

(委員)

30時間の講習で認定されます。

(座長)

そのほかに必要な資格などは、あるのでしょうか。

(委員)

特に必要はなく、主婦、おじいさん、おばあさん、どなたでもなれます。

(座長)

講習をされる講師は、どのような方がされるのですか。

(委員)

私共で講師を探すのですが、医師、看護師、保育士等、各分野に分かれて講師を探しています。

(座長)

認定証の有効期間はどれくらいですか。

(委員)

原則1年となっておりますが、経験を重ねている方であれば3年、というようになっています。

(座長)

分かりました。ありがとうございます。資金面はどうなのでしょう。

(委員)

市から委託されているお金があり、その中で実施しています。しかし、ほとんど赤字になりますので、それ以外に母体となる幼稚園の先生を派遣したりしています。

(座長)

分かりました。マッチングのシステムができれば、オンデマンド、つまり、欲しいときに探せる、HP で予約するというようなシステムがあると良いのではないのでしょうか。

(委員)

HP はあるのですけれども、サービス利用者と登録者で直接やりとりをしないようにしています。これは、事故等に対応できるようにするため、必ずファミリーサポートセンターが間に入り調整するようにしています。

(座長)

分かりました。その他ございませんでしょうか。

(委員)

特産品の販路拡大について、どういった物を特産品として捉えるかは別ですが、津軽では、りんごだけでなく、桃も売りにしていくというニュースを見ました。このように、新たな特産品というものを開発できないものなのでしょうか。また、販路拡大のイベントを県内だけではなく、県外、海外へ発信する仕組みがあればと思います。

生活交通路線維持事業について、三沢市では「みーばす」が走っておりますけれども、細い道路まで走ることができません。これからは高齢化が進みますので、バスの停留所まで出向くのも大変になってくると思います。乗り合いタクシーのようなものも必要とされてくるのではないかと思います。

イベント交流につきましては、圏域で婚活パーティーを実施してみてもどうかと考えます。最近では、結婚する方が少なくて子どもが生まれてきません。ですから何とか 10 市町村で実施して、カップルが生まれればなと思いました。

次に、職員研修交流事業については、民間の企業からも講師を招いて実施すれば、研修がもっと深まるのかなと感じております。

(事務局)

非常に重要な視点になるものと思いますので、WG の中で検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

(座長)

図書館相互利用促進事業については、HP のリンクだけでなく、検索をかけた
ら各図書館の蔵書が検索されるのでしょうか。

(事務局)

まだそこまでは進んでおりません。現時点では各館 HP を相互リンクしている
状況です。

(座長)

分かりました。ほかに、公共施設の相互利用について思ったことですが、各施
設によって利用頻度が違うと思いますので、施設の空き時間の情報を発信できる
ようにすれば、有効活用へと繋がるものと思われま。

(5) 共生ビジョン変更素案 について

(事務局)

※ **資料 5** 「上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン変更素案」、**資料 5-1**
「簡易水道の共同利用の研究・検討」にかかると変更素案」、**資料 5-2** 「消費生
活相談事業（消費生活センターの広域利用）について」、**資料 5-3** 「消費生活
相談事業」に係る変更素案」に基づき説明。

【質疑・意見等】

(座長)

消費生活相談の実際の件数は、多くなってきているものなののでしょうか。

(事務局)

23 年度から 26 年 1 月までの相談件数ですが、十和田市約 900 件、三沢市約 600
件、各町村では約 100 件程度となっております。

(座長)

そういった中で、集約していった方がよろしいということですね。

(事務局)

はい。相談員のレベルアップ、サービスの質の平準化も含めて、相談事務を集
約していく方が、圏域施策として良いのではないかと考えております。

(座長)

相談員を強化する形になるということですね。分かりました。

それでは、委員の皆様、ビジョンの変更案の趣旨や内容、また事業進捗の状況
をご理解いただけましたでしょうか。

(異議なし)

よろしいでしょうか。それでは、異議なしということで、了承させていただきます

たいと思います。

6 その他

議事録について、発言については、「座長」、「委員」、「事務局」という表記とし、各委員確認後に HP 等で公開していくこととする。

以上